

三河湖観光センターの前は湖の景色を楽しめ(写真右手)、建物の一部は屋根付きの多目的広場(写真左手)としてマルシェやイベントに利用できる。



豊田 三河湖観光センター OPEN

休憩所・観光情報発信 地域交流の拠点として

豊田市下山地区の「三河湖観光センター」が3日にリニューアルオープンした。前日には式典が行われ、夕方からは第3回目の三河湖花火も開催。対岸から打ち上げられた花火が湖面にも映り、幻想的な風景で見物客を魅了した。

式典では694件の応募の中から選ばれた愛称「三河湖テラスこりん」と、そのロゴマークが初披露された。愛称を考えた大沼小学校3年の小嶋悠仁くんは、「展望テラスからの景色をみんなに見てほしい気持ちと、みんなに来てほしい願いを込めて三河弁のこりん

愛称 三河湖テラスこりん

んかになりました。自分の考えた愛称が歴史に残るんだなと嬉しい気持ちです」と話してくれた。

旧観光センターは休憩所として44年間親しまれてきたが、老朽化や時代のニーズに合わせるため3月から改築工事を行ってきた。新施設には常設の飲食販売や物販はなく、魅力的な休憩空間や眺望に力を入れて整備が行われた。施工は㈱スペース(東京都)。プロポーザル方式で旧施設解体と新施設設計・施工を一

括で行い、完成した施設を市が買い取った。総費用は約2億7千万円。第3セクターの㈱香窓の里が指定管理者となって運営する。



三河湖を望む南面は全面ガラス張り。室内からも景色を楽しめる。そこから続く屋外デッキにはリクライニングチェアが置かれ、景色を眺めながらリラックスできる空間となっている。

公衆トイレも立派で、オムツ替えシートを備えた「ひろびろブース」にはベビーカーごと入れる。パウダールームもある。

施設と公衆トイレの間は屋根付きの多目的広場になっておりキッチンカー等の出店もできる。イベント開催、地域活動、観光客同士の交流の拠点となる。

利用時間は10〜17時。定休日は火曜日と年末年始。公衆トイレは24時間使用できる。駐車場は40台分ある。

【有我都】

屋根付き多目的広場でマルシェも

WE LOVEとよた サポーターズ任命

しもやま観光協会PR大使

三河湖観光センターのオープン式典では、しもやま観光協会のPR大使を長年務める矢上彩乃さんが、豊田市から「WE LOVE とよたサポーターズ」に任命された。矢上さんは2018年にPR大使に就任。フリータレントとしてマイタウンおいでんや、しもやまラリー等の司会でも活躍中だ。「三河湖観光センターを拠点にいろいろな場所を楽しんでほしいですね」と想いを話してくれた。WE LOVEとよたサポーターズはこれで14人(組)となった。

矢上彩乃さん

